

新たな形で賀詞交換会を実施

1月4日、「令和5年新年賀詞交換会」が開催されました。今までの開催方法を一新し、初めて久留米シティプラザのザ・グランドホールで実施。約550人が参加し、久留米大学生の司会進行や九州男児新鮮組が力強いダンスを披露しました。ステージの幕は、久留米商業高校書道部が作成しました。原口新五市長は、「新型コロナウイルス禍でも、できることを工夫して前に進めたい」と述べました。



原口市長は活力のあるまちに向けて新年の抱負を語りました

柴刈小で宇宙1日出前講座

1月12日、柴刈小学校でJAXA（宇宙航空研究開発機構）の職員が、宇宙1日出前講座を開催しました。6月に開催される「ISTS福岡・久留米大会地元事業の一環です。将来、人間が月で生活するために、各国で何が研究されているかなどの説明を受けました。稲富友希さん（4年）は「二酸化炭素を酸素に変える機械を造って、いつか月に行ってみよう」と話しました。



10年後、20年後に月はどうなっているか、月でできる職業は何かなど、みんなで話し合いました

※ISTS：「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」。国内最大の宇宙国際会議です。今年6月3日(土)から9日(金)まで、久留米市で開催されます

今年の活発な取引を願う初競り

1月5日の早朝、鮮魚を取り扱う市地方卸売市場水産物部と青果を取り扱う市中央卸売市場で、初競りが行われました。原口新五市長のあいさつの後、万歳三唱を皮切りに、取引を開始。場内には競り人の威勢の良い掛け声が響き、活発な取引が行われました。初日の取引量は、水産物が22・4tで約3800万円、青果物は140・5tで約4800万円でした。



水産物部の競りでは、買受人が手ぶりで競り人に値段を伝えていました

セーフコミュニティ標語表彰

市は、セーフコミュニティを多くの人に知ってもらい、日常生活でけがや事故を予防するきっかけとなるよう、毎年、セーフコミュニティ標語を募集しています。今年度は過去最多の2417件の応募があり、審査により最優秀賞1点、優秀賞11点を決定。最優秀賞には、福嶋春人さん（善導寺小3年）の作品が選ばれました。表彰式は、12月17日にえーるピア久留米で行われました。



福嶋さん（前列左）の作品は「その言葉 きみが言われて どう思う？」です

出初め式で伝統的な技も披露

1月9日に久留米百年公園で「久留米市消防出初式」が行われました。参加したのは、市内消防機関の関係者ら約900人。永年勤続表彰などのほか、消防署による訓練展示や分列行進を行いました。式の半ばには、市消防団の有馬火消しはしご隊による伝統的な「はしご乗り」も。新調した久留米緋製の法被をまとって華やかに技を披露し、観客からは盛んな拍手が起きました。



約8メートルもの高さがあるはしごで技を披露しました

式典で決意を新たに

1月8日、校区ごとに「成人式・はたちのつどい」が行われました。西国分校区では、133人が出席。同級生や恩師との再会に笑顔があふれていました。式では、西国分小合唱クラブが校歌を披露し、小中学校時代の担任教諭が激励の言葉を述べました。出席者を代表して安藤未結さんが「感謝の気持ちを忘れず、夢や目標に向かって精進していきます」とあいさつしました。



同級生や恩師の前で、原口新五市長（左）に抱負を述べる安藤さん

新型コロナ・インフルエンザ感染拡大中

新型コロナ、インフルエンザの感染者が急増しています。感染防止には、マスクの着用や手指消毒など基本的な感染対策を徹底することが大切です。

市公式 SNS で情報発信中

災害や新型コロナなどの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

QRコードとSNSアイコンのグリッド:

- ホームページ
- ライン
- YouTube
- フェイスブック
- くるっば Twitter
- くるっば Instagram

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビでKBCを視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大12項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・インクルージョンのin久留米 (土) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信



インクルージョン (福岡よしもと)

今月の表紙 // 大たいまつに無病息災を願う



1月7日、大善寺玉垂宮で3年ぶりに鬼夜が開催され、境内は観客で埋め尽くされました。火の粉に当たると無病息災といわれています。